

福祉・保健



健康福祉まつり

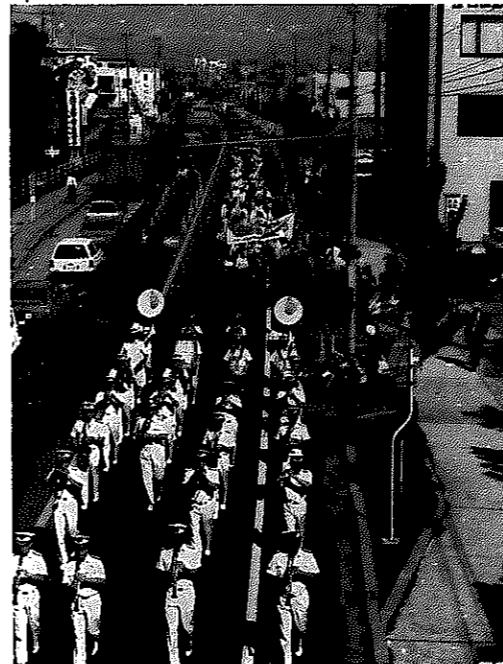
主な事業と予算額

事業名	予算額(万円)
○緊急通報装置設置事業委託	108
○老人家庭奉仕員の増員	1,664
○保育園長時間パートの増員	112
○ひとり親家庭等医療費助成事業	572
○成人病予防対策事業	3,706
○社会福祉協議会運営費補助	370
○老人福祉センター運営費補助	2,150

生活環境

主な事業と予算額

事業名	予算額(万円)
○準幹線排水路、市街地側溝整備	1,435
○道路舗装改良、排水路等整備	9,920
○交通安全施設等整備(歩道整備等)	3,355
○菱潟新田尾線道路改良整備	1,400
○小蔵子白蓮線道路改良整備	8,400
○古川下八枚線道路改良整備	1,000
○農村基盤総合整備事業	10,150
○農村集落環境整備事業	1,250
○ほ場関連農道整備事業負担金	4,138
○下水道基本構想設計委託	750
○カルチャーセンター建設事業	65,398



交通安全パレード

道路整備に全力

市民の皆さんの要望が最も多い道路整備。市民生活の向上と都市の活性化のため、躍進する市の動脈として、今年度も引き続き整備に全力を注ぎます。

▽国道 昭和六十三年度に都市計画道路として計画決定した国道8号の四車線化。今後も国県への働きかけを強め、早期事業化に努めます。また、交差点の改良整備や歩道の整備を継続して進めます。特に、白根北中学校の通学路確保のため、上塩俵から北田中までの歩道整備を開校までに完了するよう国に対し強く要望します。

▽県道 白井バイパス、白根バイパスの未整備区間の早期完成、小須戸橋の暫定歩道橋建設の早期完了に努めます。また、歩道整備については、今年度から始まる第五次特定交通安全施設等整備五カ年計画の中に組み入れてもらうよう、積極的に県に働きかけます。

▽市道 菱潟新田尾線、小蔵子白蓮線の改良整備と茨曾根免新田線の交通安全施設整備を継続実施します。また、新規事業として古川下八枚線の下八枚地内の改良整備、幹線八号の歩道整備に着手します。

福祉

長寿社会にふさわしい社会システムの確立が課題となっている中、福祉へのニーズは多様化しています。健康で文化的な生活を送るため、本市の実情に合わせた施策を推進します。

在宅福祉を充実

高齢者福祉の充実のためデイサービスセンター(早月園)を開設。さらに、介護が必要な老人の健康福祉の充実と在宅福祉サービス事業の推進のため、訪問事業に力を入れ、家庭奉仕員を増員します。また、一人暮らし老人のために、緊急通報装置設置事業を進めます。

障害者の自立と社会参加を促進

障害を持つ人のために、重度心身障害者医療費助成、特別障害者手当と特別児童扶養手当などの給付を行います。また、障害者の自立と社会参加を促進するため一層努力します。

児童の健全育成に努力

婦人の社会参加意欲の増大などにより、乳幼児保育に対する

整備に取り組みます。

排水対策を促進

排水対策を促進します。白根郷内の排水は、全量を機械排水に頼っています。しかし、水田転作による畑地化や宅地開発などの排水処理に対応する機能が十分ではありません。現在、国営土地改良事業白根郷地区調査が進められており、調査完了と早期事業化の実現に努力します。また、市街地を除く集落排水などは、大部分が農業用施設を利用していることから、土地改良区と協議し、土地改良施設維持管理適性化事業などの制度を活用し、整備促進を図ります。

下水道基本構想を策定

下水道基本構想を策定します。下水道は、健康で快適な生活環境の確保と、河川の水質を保全するという重要な役割があります。そのため、下水道基本構想を策定し、住民の合意を得ながら公共下水道区域、農業集落排水区域などに区域区分を行い、区域ごとの基本計画の作成に努力します。

カルチャー一次認可分終了

昭和六十二年度から整備を進

保健

期待は高まっています。就学前教育の普及や、労働形態の多様化に対応した延長保育などに配慮し、児童の健全育成と福祉の向上に努めます。

また、ひとり親家庭の父や母、児童などの医療費負担軽減のため「ひとり親家庭等医療費助成事業」を四月から実施します。

健康は市民共通の願いです。昨年健康福祉まつりで、健康福祉都市実現に向け力強くアピールしました。また、取りまとめを急いでいる保健福祉計画は、保健、福祉、医療を有機的に結び付け、生涯を通じて一貫した健康管理体制の確立を目指したものです。これらに基づきながら、保健婦を一人増員し、市民の健康づくりに全力を注ぎます。

成人病の予防に全力

全国的な傾向と同様に、本市でもがん、心疾患、脳血管疾患の三大成人病による死亡が、原因の六〇%を超えています。前年度に引き続き、重点課題として成人病予防対策に力を注ぎます。このため、集団検診率の向上対策、食生活改善活動など、健康づくり運動を地域から進め

めてきた白根総合公園は、カルチャーセンター建設の継続事業費を計上。単年度事業として催し物広場、ちびっ子広場の整備を行います。これにより第一事業認可分が終了します。今後は、より効率のよい補助事業などを選択しながら全体の整備を図ります。

住居表示を実施

前年度、魚町地域での説明会を開催。今年度は関係する住民との合意を得ながら、実施に向けて努力します。

交通安全対策と火災予防を徹底

交通安全対策は「交通安全宣言都市」にふさわしい対策を推進します。昨年中の市内での事故発生件数、負傷者数、死亡者数は、全国、県と同様に増加しました。今年度は、交通安全基本計画を見直し、交通環境の変化に対応した安全施設整備、安全思想の普及を図ります。

火災予防の徹底を図ります。昨年の市内での火災発生件数は若干増加しています。今年度は、消防機械器具の整備計画に基づき、小型動力ポンプの更新、ポンプ舎の改築、消防水利施設の整備を進めます。

るため、保健会組織活動の一層の育成強化を図ります。

精神障害者の社会復帰を助長

精神障害者の自立と社会復帰に向け、通所作業所などの運営費を助成するとともに内容の充実を図り、家族の精神的負担の軽減に努めます。

環境衛生

ごみの分別集取と減量化を徹底

白根衛生センターでは、ごみ焼却施設の改築を三カ年計画で予定しています。これらの施設を有効に機能させるため、市民の理解を得ながら、ごみの分別収集と減量化を今まで以上に徹底します。

公害のない快適な環境づくりのため、力を注ぎます。廃棄物の不法投棄や油の流出などが依然として見受けられます。監視体制を強化して、これらの防止に努めます。